

「生命（いのち）の安全教育」実践事例

活動名	生命（いのち）の安全教育		
学校名	茅ヶ崎市立小和田小学校		
学年	第 6 学年	人数	1 4 7 人
日時	① 2025 年 9 月 8 日（月） 10：45～11:30（1・2・3 組） ② 2025 年 9 月 8 日（月） 11：35～12:20（4・5 組）		
取扱いの分類	人権・情報・防犯		
学習のねらい	自分や他の人の「心と体」を大切にするためにできることを考える		
内容	（導入） めあての確認 自分や他の人の「心と体」を大切にするためにできることを考える。 （展開） ① 自分だけの大切なところ（プライベートゾーン） 自分と他の人を守るためのルール ② 自分と他の人との距離感が守られないときの対処方法 ③ SNS を使うときに気をつけること ※①②③ごとに養護教諭のメッセージを聞く。 （まとめ） 動画を視聴し、学習内容を振り返る。  		
成果 （児童・生徒、教 職員の感想等）	・プライベートゾーンについて、あと少しで修学旅行もあるので、今日のことをしっかり意識して、楽しい旅行にしたいです。 ・自分と相手では、思っていることがちがうこと、嫌な時にはやめてと言うことを学んだ。 ・SNS などのプロフィールは、年齢や顔などが必ずしも本当かは分からないということを知った。		
課題	子どもたちを性暴力の被害者にも加害者にもさせないための「生命（いのち）の安全教育」の目的を教員が深く理解して、授業を実践する力を一人一人がつけていくとともに、日常生活の中で生かしていくことができるようにしていきたい。		
学校全体での 取組や工夫	今後、今回の授業をそれぞれの教員が理解を深め、毎年計画的に実施をしていく予定です。		